

## 「命といふものは大切」

皆野小4年

山中 煌琳さん  
きらり



わたしは、4才ぐらいの時、おなかの病気で、二か月ぐらい入院して手じゅつをしたことがあり、とても悲しい思いをしたけいんを今でもおぼえています。

その日、病院に行つた時、病氣だとわかり、おなか以外にも手にほうたいをまかれたり、注しゃをうたれたりしました。

そして、手じゅつの日。わたしは、「じきじきするな。大丈夫かな。」と泣きそうに思いました。

そして、手じゅつがおわって目をさました時、「よかったです。」

と思いました。そして家族も「よかったです」と思つていていたそうです。

「もう少しでお家にもどれるからね。」

と言ってくれました。でも、楽しみにしていたお祭りの花火はお母さんといつしょにまどから

(訓) 命の大切さについて、改めて気付いた時の経験を、上手に文にすることができましたね。これからもその気持ちを大切に気付けていねいに書けます。

皆野小6年

大塚 美鈴さん  
みすず



## 街角

小六 大塚 美鈴  
国神小3年

(訓) 字の中心を意識して、バランスよく、丁寧に書くことができましたね。

持田 晃成さん  
こうせい



## ジュニアミュージアム



## 「友達」

皆野中1年

豊田紗里奈さん  
さりな



(本人のコメント)  
友達の明るい笑顔で優しさを表現しました。また背景には、友達の強さを表現しました。



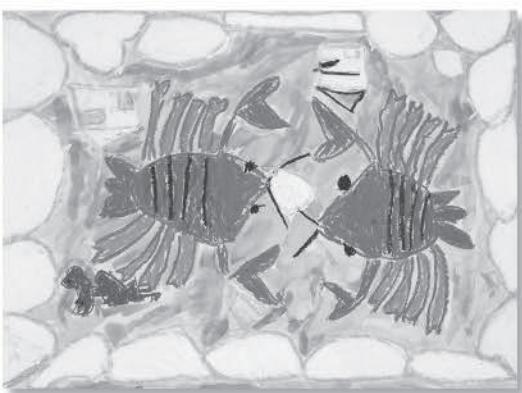
## 今月の題字



黒澤 宣稀さん  
のぶき



長島 千晏さん  
ちあ



## 児童の見守り放送



櫻井 香花さん  
さやか